

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 5 年 第 2 回 定 例 会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	高 田 豊 繁	1 海岸漂着ごみ類及び放置廃船の対策について	(1) 奄美諸島の海岸線には黒潮の海流、台風、隣国の経済発展等の影響により、ペットボトル類のほか様々な漂着ごみが散乱し、今後もその傾向は強まるものと懸念されることから、国・県にその対策を講じてもらうべく、奄振事業の活用等も含めて法制化・予算化を強く要望していく考えはないか。 (2) 現在、町内のあちこちに放置廃船が見受けられるが、廃屋等の対策も含め景観条例を制定するなど、具体的な対策を講じる考えはないか。	町 長 町 長
		2 町有地の境界確定対策について	(1) 依然として町有地の境界未確定区域があるが、対策検討会議等を設置して早めに解決する考えはないか。	町 長
		3 国民健康保険特別会計の赤字対策について	(1) 施政方針の中で、国民健康保険特別会計への一般会計からの赤字補てんが毎年度続いていることから、独立採算に向けた対策を検討していくとあるが、その具体的な取組はどう進める計画であるか。	町 長
2	野 口 靖 夫	1 奄振法の改定と本町の課題解決について	(1) 本町の課題を解決するためには、町第5次総合振興計画や町長の施政方針との整合性を図りながら、奄振法の改定に向けて重点要望事項（施策）を整理するとともに、事業採択や実現までの行動計画が必要であると痛感されるが、農業（畜産を含む。）水産業、観光業を振興するため、具体的に奄振法をどう活用していく考えであるか。	町 長
		2 県道の改良整備について	(1) 茶花小学校北側の野本商店前交差点（T字路）付近の改良整備については、県とどのように交渉し、今後どう進める方針であるか。 (2) 東区交差点（十字路）付近の改良整備については、	町 長 町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 5 年 第 2 回 定 例 会 No. 2

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
2	野 口 靖 夫		県とどのように交渉し、今後どう進める方針であるか。	
3		町道高校線の改良整備について	(1) 与論分遣所（消防署）への取付道路としては、現在、高校の教頭住宅側からの出入口だけしかないため、自然災害や交通事故等の発生によりここが使用できない事態となり、緊急自動車の出動に支障を来すこととなる場合も想定されることから、南側からの町道高校線を改良整備して分遣所につなぎ、出入りを可能とする道路を確保する必要があると痛感されるが、これを推進していく考えはないか。	町 長
3	麓 才 良	1 水資源の保全について	(1) ため池の水質改善については、水管理組合とも協議し、それぞれに応じた対策を講じる必要があると考えるが、どう取り組む方針であるか。	町 長
			(2) 対策を具体的に推進するためには、助成措置等も一つの方策であるが、どう考えているか。	町 長
			(3) 循環型社会を構築する上で、水資源の保全はその基本となる政策であると痛感するが、その対策をどう考えているか。	町 長
4	喜 山 康 三	1 職員の資質・意欲向上と職場の環境改善について	(1) 町民の福祉向上と町勢発展のいかんは役場職員の資質によるところが極めて大きいと考えるが、その資質や意欲を高めるため、どう取り組んでいるか。 (2) 正規職員の採用、初任給、昇格、昇給等の基準はどうなっているか。また、非正規職員の場合はどうか。 (3) 職員の労働災害の防止や心と体の健康管理など、職場の環境改善の取組については、どのような方針や計画で進めているか。	町 長 町 長 町 長
		2 環境対策について	(1) ごみの減量化を図ることにより、焼却施設の寿命を	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 5 年 第 2 回 定 例 会 No. 3

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
4	喜 山 康 三		<p>延伸し、かつ、コストの軽減も可能となることから、施設設備及び運営の在り方を新たな発想で見直し、付加価値を高めて、収益増とコストダウンを図る必要があると考えるが、どう取り組んでいるか。</p> <p>(2) リサイクルセンターで受け入れた粗大ごみの中には再利用できるものもあることから、これを町で販売・譲渡できるような施策の必要性が痛感されるが、どう考えているか。</p> <p>(3) 清掃センターの建て替え計画が進んでいるようだが、サーマルリサイクル（熱回収）を行って堆肥の乾燥に利用するなど、多方面から検討する考えはないか。</p>	町 長
		3 教育・観光の振興について	<p>(1) 自然保護・環境保全に努めるとともに、新たに歴史の掘り起こしや見直しなどを行い、歴史・文化に根ざした観光資源の開発を進める必要があると考えるが、どう取り組んでいるか。</p> <p>(2) 遺跡の由来についての再検証を進めるなど、歴史・文化面の事業や活動の充実を図る必要があると痛感するが、取り組む考えはないか。</p> <p>(3) 教育・観光の両面から本町の位置や歴史を積極的に紹介・案内し、新たな与論の魅力を創出して再発見させていく必要があると痛感するが、どう考えているか。</p>	町 長 教 育 委 員 長 町 長
5	町 俊 策	1 観光振興対策について	(1) パナウル王国建国 3 0 周年記念事業の中で、既に実施した事業の内容とその成果はどうであったか。今後実施する予定の事業は、予算面も含めて具体的にどのような内容であるか。	町 長
		2 特産品開発の支援策について	(1) 特産品協会が中心となって取り組んでいる本町の特	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 5 年 第 2 回 定 例 会 No. 4

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
5	町 俊 策		<p>産品開発を一層支援し、産業として確立するためには、現在の特産品開発センターの調理加工器具では若干足りないと痛感されるが、これを補充する考えはないか。</p> <p>(2) ソフト面からの支援も必要であることから、①マーケティングリサーチの方法等の研修②有名料理人の監修による品質の向上を図るための講師招へい③製品・容器等の意匠（デザイン）の洗練化などについて、町として積極的に取り組み支援していく考えはないか。</p>	町 長
		3 ため池の水質の維持向上対策について	<p>(1) 自治公民館長や水利組合長等を先進地に派遣して研修をさせるに当たっては、あらかじめ参加者全員が本町の水質の汚染状況等について共通認識を持って視察すべきであると痛感するが、事前研修を行う考えはないか。</p> <p>(2) 研修成果を町民に公表することによって、水質の維持向上に関する町民の意識の高揚を図る必要があると考えるが、どう進める方針であるか。</p>	町 長 町 長
6	福 地 元 一 郎	1 姉妹都市盟約について	(1) 平成 1 8 年 3 月 3 1 日に旧口之津町を含む 8 つの町が合併して誕生した南島原市や与論と関係の深い大牟田市と姉妹都市盟約を締結して、一層友好を深め交流を活発にすることができれば、本町の観光や文化の振興発展にも大いに役立つと痛感されるが、町長はどう考えているか。	町 長
		2 観光振興対策について	(1) 去る 6 月 1 日に東京の日比谷公会堂でヨロン島ファン感謝祭が開催され、2 日は渋谷のライブステージ・ギルティーで「大宴会」と銘打ってライブイベントが行	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 5 年 第 2 回 定 例 会 No. 5

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
6			<p>われたが、準備期間が短くPR不足を指摘する声が多く聞こえた。イベントは1年ぐらいの準備期間を設けてPRしていく必要があると痛感されるが、町長はどう考えているか。</p> <p>(2) 「人生ゲーム」を販売するタカラトミーが、人生ゲーム発売45周年記念事業として、また、本町と本町商工会青年部が推進する「ヨロン島興し計画」の一環として、「ヨロン島リアル人生ゲーム」を7月20日から9月16日まで与論島を舞台に実施するとのことであるが、本町はこれにどう関わっているか。</p>	町 長

